

なと市議会だより

第156号

2016.11.1



各地区で地区民運動会が開催

増田地区では9月11日に地区民運動会が開催されました。地区民運動会は、地域の子供たちと地区の団結力を育てる大切な行事です。種目ごとに大きな歓声と笑顔があふれていました。

9
月
議
会
ヘ
ッ
ド
ラ
イ
ン

市政のここが聞きたい	一般質問	P 2
使用料・手数料と水道料金が変わります	条例・補正予算審議	P 11
震災復興支援バスが運行します	条例・補正予算審議	P 11
平成27年度決算の中身は	決算審査	P 12
議会懇談会を開催します	議会からのお知らせ	P 16

一般質問

市政のことが聞きたい

「一般質問」は市の執行部に対し、政策提言や事務の執行状況についてたずねます。

本定例会における一般質問は9月12日から15日までの4日間行われ、16人の議員から33事項、121項目の質問がありました。各議員の一般質問のうち、1項目を掲載しました。なお、掲載項目以外については、その他の一般質問として項目のみ掲載しています。

菊地 忍 議員……………P 2 ・市政運営について	荒川洋平 議員……………P 6 ・東日本大震災からの復興について
長南良彦 議員……………P 3 ・聞く耳と対話のある政治について	小野泰弘 議員……………P 7 ・市長の選挙公約について
齋 浩美 議員……………P 3 ・子ども医療費助成制度について	及川秀一 議員……………P 7 ・閑上小・中学校の再建について
佐々木哲男 議員……………P 4 ・市政運営方針について	丹野政喜 議員……………P 8 ・名取市の将来像と公約について
菅原和子 議員……………P 4 ・読書環境の整備について	大友康信 議員……………P 8 ・市長の選挙公約について
大泉徳子 議員……………P 5 ・女性の再就職支援と雇用の促進について	大沼宗彦 議員……………P 9 ・安心安全、障がい者、高齢者に優しいまちづくりについて
山口 實 議員……………P 5 ・市民と共生する「まち」づくりについて	大久保主計 議員……………P 9 ・選挙公約について、市民への説明責任を果たすべき
吉田 良 議員……………P 6 ・広域連携と市町村合併について	小野寺美穂 議員……………P10 ・市長選挙公約等全般について



▲震災前に行われていた井戸端トークの様子

議員 本市ではこれまで市長が各地区を回り意見交換を行う「井戸端トーク」を実施していた。これは市内を4つのグループに分け順次回り、年4回程度の開催であったが、東日本大震災発災以降は実



菊地 忍 議員

市長 市民と行政とのパイプ役である行政区長との懇談会を実施してきたが今後も継続したい。また各種団体の皆さんと直接対話をし、市政運営に反映してい

施されていない。市長は「聞く耳と対話のある市政」を目指していることを踏まえれば、早期に各地区を回り市民の意見を聞く場を設けるべきと考えるがどうか。

市長 寄せられた意見や要望は匿名の場合を除き、各担当課において対応した内容を連絡している。市民へのお知らせについては、個人情報保護問題や公開の方法などについて、他の自治体の事例等を参考に研究したい。

議員 これまで実施してきた「井戸端トーク」は行うのか。
市長 地域に直接伺い市民と対話をする事は前向きに検討したい。
議員 市に対する要望や意見を書き、投稿できる「目安箱」が市役所1階ロビーに設置されている。寄せられた意見や改善した点など投稿者だけでなく市民にお知らせすべきと考えるがどうか。

市長が各地区を直接回り意見を聞く場を設けるべき

答 対話が必要であると考えている

〈その他の一般質問〉
▽情報発信について

議員 市より委嘱された区長は、行政事務を補助する職務であり、広報紙を初め文書の配布や区域内の市に対する要望及び相談業務、区域内の住民異動の把握等、多様かつ重要な業務を担っている。地区内の課題も掌握していることから、元氣な都市名取の実現のため



長南良彦 議員

長懇談会を充実させ、市民に寄り添った市政運営を

答 現場へ足を運び対話に努める

も継続するとともに、新たな試みで今年度は区長連合会役員との懇談会も計画している。議員 これまでの懇談会は、開催時間が短くその場でじっくり議論し方策を練る内容ではなかったことから、要望に対する実現性も低かったとの声が聞かれる。各区長から出される

に行政区長との対話と連携を強化すべき。**市長** 毎年5月頃に地区単位で「市長・区長懇談会」を開催し、市の施策の説明と地域の課題や要望を聞くほか、11月頃には区長会連合会による「行政懇談会」を開催し、各地区の要望を受けている。今後



▲昨年度の「市長・区長懇談会」の様子

の要望は地区住民にとっては大変重要かつ深刻な問題であり、計画的に実現すべき。**市長** 懇談会のあり方、内容、進め方について検討する。基本的な姿勢は「聞く耳と対話のある市政」であり、単に聞くだけ、単に言うだけでなく対話という形で、お互いの意見が交換できる場にした。最も大切なことは現場に足を運び、市民と意思の疎通を図ることであり、そこから始める。

（その他の一般質問）
▽市内の均衡ある発展について

県が子ども医療費を拡充するが、本市の対応は

答 平成29年10月を目標に拡大する



齋 浩美 議員

議員 県は、子ども医療費助成制度を拡大する方針を8月に公表したが、これを受けて本市の対応は。**市長** 現在、本市の子ども医療費助成制度は、入院が中学3年生まで、通院が小学6年生までを対象として、所得制限及び小学生の通院時

に一部自己負担を設けている。県の拡充を受け、通院助成を中学3年生まで拡大することの検討を指示した。**議員** いつから助成が拡大されるのか。**部長** 実施目標としては、平成29年10月を予定している。**議員** 今回の拡充を受けて、所得制限を撤廃し、窓口一部負担を廃止する自治体もある。本市も所得制限と一部負担をなくすべき。**市長** 中学3年生まで

の拡大を実施することによる財政への影響を精査して、慎重に検討したい。**議員** 一部負担を500円から100円に変更できないのか。**部長** 財源の都合もあり、現在は考えていない。**議員** 高校卒業時まで拡大している自治体もふえてきている。本市も拡大できるよう、県に対してさらなる拡充を求めるべき。

子ども医療費助成受給者証	
一部負担金額	通院： 入院：
公費負担者番号	83040071
受給者番号	
受給者住所	みほん
氏名	
子ども氏名	
生年月日	年 月 日
有効期間	平成 年 月 日から 平成 年 月 日まで
市長名及び印	宮城県名取市長
交付年月日	平成 年 月 日

▲子ども医療費助成受給者証の見本

（その他の一般質問）
▽就学援助の支給時期を見直すべき
▽各種奨学金制度について

市長 子ども医療費助成制度は、県内の自治体においても地域差がある。自治体間の差が早急に解消できるように、今後継続して県に制度の拡充を求めていく。

復興の加速化の具体的な施策は

答 全庁的な共通認識で、加速化を図る



佐々木哲男 議員

議員 平成29年度と定めた震災復興計画が現時点で達成が叶わないのは明白である。この期に及んで、期限を曖昧に復興事業を進めるべきではなく、現状を踏まえた確実な工程の見直しを図り、着実に推し進めるべきである。所信表明で、事業の完了見込みを早急に精査



▲閑上地区の復興事業の様子

し、復興の加速化を図ると述べたが、具体的な施策について伺う。

市長 おくれているのは、閑上地区のハード事業である。事業実施上の課題の洗い出しを行い、詳細なスケジュールを精査する。事業を短縮するための方策を検討し、復興の最終ラインを定め、公表して、全庁的な共通認識のもと、目標に取り組みたい。まずは、市としての目標設定と、その達成に向けた職員間の情報共有を行いながら、これまで以上に復興の加速化を図りたい。

議員 市長は、議員の

立場でこれまでの4年間、復興事業に賛成をし、早期復興を目指し、精査を重ねながら懸命に取り組んできた職員

の姿を見てきたはずである。選挙公約とはいえ、復興事業加速化のためのさらなる精査を職員に望むことに違和感を覚えるが、市長の見解を伺う。
市長 復興事業が予定どおり進んでいないことは承知している。諸課題が何なのか、復興庁の工事加速化支援隊の協力を得ながら、加速化の可能性を探りたい。

新

図書館に読書通帳機を設置すべき

答 通帳か手帳のどちらかを導入したい



菅原和子 議員

議員 子供のころの読書は特に大切であり、その後の人生を左右することにもつながる。先日、東北初となる読書通帳機を設置し、人気を集めている多賀城市立図書館を訪問した。読書通帳は、金融機関の預金通帳と同じ形状で、本を借りた後、

議員 ブックスタート

教育長 読書通帳と同様の効果が得られるものとして、借りた本の書名等をシールに印字し、自分の好みのノートや手帳に張るタイプのものがある。新図書館では、通帳か手帳タイプのどちらかを選択し導入する計画である。

議員 ブックスタート



▲多賀城市立図書館の読書通帳

館内に設置された読書通帳機に差し入れると、貸し出し日・書籍名が印字される。新図書館に読書通帳機を設置すべき。
とは、赤ちゃんとその保護者に絵本や子育てに関する情報などが入ったブックスタートバックを手渡し、絵本を通して心触れ合うひとときを持つきっかけをつくる活動である。子育てに追われ忙しく毎日を過ごす状況では、子育ての楽しみや喜びを感じるゆとりを持つことが難しくなっていることから、全国969の自治体の事業として行われている。本市でもブックスタート事業を始めるべき。
市長 赤ちゃんに初めて贈る絵本は、親や子供の周りにいる大人が愛情と責任を持って与えるべきという考えから、ブックスタート事業は行っていない。

〈その他の一般質問〉
▽子育て支援について

女性の再就職活動への支援強化と雇用の促進策を

答 可能な対応を関係機関と協議する



大泉徳子 議員

議員 再就職を希望する女性への支援策は。
市長 NPO法人主催の「マイインターンプロジェクト」を、今年度2回開催した。講義やワークショップ、さらには実際に職場体験などを行い、再就職への具体的なイメージをつかんでもらうカリキュラム内容である。



▲名取市地域職業相談室の様子

議員 再就職を希望する女性が必要とする情報を、ワンストップで提供できるように名取市地域職業相談室の機能強化を図るべき。
市長 職業相談室はハローワーク仙台の管轄であり、専門機関である「マザーズハローワーク」が県内に3カ所あることから、相談室の機能拡充は困難である。
議員 本市独自の業務を加え、市内保育所の最新情報やキャリアアップのための情報提供、子育て中の女性が応募しやすい市内の求人情報など、再就職支援に特化した窓口を設けるべき。

〈その他の一般質問〉
▽施設の利用しやすい環境整備について

課長 情報提供など、どこまで対応可能か関係機関と相談し、少しでも機能強化に努めたい。
議員 女性の雇用拡大と安定のため、市内企業に対し、本市独自の仮称「女性活躍加速化助成金」を創設すべき。
市長 現時点では、本市独自の助成金創設ではなく、厚生労働省が実施している助成金制度の周知を行い、女性の雇用拡大と安定に努めたい。

市花ハナモモを公共施設に植栽すべき

答 場所・施設管理の問題も含め検討したい



山口 實 議員

議員 市を代表する市花・市木・市民歌、いずれも市民にとつてなじみが薄いと感ずる。市政運営の中で、どのような役割を果たすべきか。

市長 本市のシンボルとして、市民がふるさとへの愛着の意識を高くしたい。



▲名取市の市花 ハナモモ

揚させる役割を担うものと考えらる。

議員 市民に親しまれる市民歌とするため、始業前・昼休みを活用し庁舎内に市民歌を流すべき。また、市主催の行事や公民館行事にも積極的にPRすべき。

市長 聞く機会が不足しており印象が薄いと認識する。

今後は、始業前、昼休み、市主催行事、公民館行事などでの実施に向け検討したい。

議員 庁舎前広場や各公民館、市内の公園など、公共施設への植栽運動を進め、広く市民に知らせ、愛され誇れる市花ハナモモとなるよう実践すべき。

市長 具体的に貴重な提言である。場所や施設管理上の問題なども含め検討していきたい。

市花ハナモモは、市民によく知られず残念である。市民に親しまれるよう積極的な創意工夫に努めるべき。

市長 制定当時と比べ認識、イメージともに薄れている。各種イベント時の活用や刊行物への掲載を行い、市民により親しまれるよう努めたい。

議員 庁舎前広場や各公民館、市内の公園など、公共施設への植栽運動を進め、広く市民に知らせ、愛され誇れる市花ハナモモとなるよう実践すべき。

市長 具体的に貴重な提言である。場所や施設管理上の問題なども含め検討していきたい。

市花ハナモモは、市民によく知られず残念である。市民に親しまれるよう積極的な創意工夫に努めるべき。

市長 制定当時と比べ認識、イメージともに薄れている。各種イベント時の活用や刊行物への掲載を行い、市民により親しまれるよう努めたい。

議員 庁舎前広場や各公民館、市内の公園など、公共施設への植栽運動を進め、広く市民に知らせ、愛され誇れる市花ハナモモとなるよう実践すべき。

市長 具体的に貴重な提言である。場所や施設管理上の問題なども含め検討していきたい。

市花ハナモモは、市民によく知られず残念である。市民に親しまれるよう積極的な創意工夫に努めるべき。

市長 制定当時と比べ認識、イメージともに薄れている。各種イベント時の活用や刊行物への掲載を行い、市民により親しまれるよう努めたい。

議員 庁舎前広場や各公民館、市内の公園など、公共施設への植栽運動を進め、広く市民に知らせ、愛され誇れる市花ハナモモとなるよう実践すべき。

市長 具体的に貴重な提言である。場所や施設管理上の問題なども含め検討していきたい。

市花ハナモモは、市民によく知られず残念である。市民に親しまれるよう積極的な創意工夫に努めるべき。

市長 制定当時と比べ認識、イメージともに薄れている。各種イベント時の活用や刊行物への掲載を行い、市民により親しまれるよう努めたい。

議員 庁舎前広場や各公民館、市内の公園など、公共施設への植栽運動を進め、広く市民に知らせ、愛され誇れる市花ハナモモとなるよう実践すべき。

市長 具体的に貴重な提言である。場所や施設管理上の問題なども含め検討していきたい。

市花ハナモモは、市民によく知られず残念である。市民に親しまれるよう積極的な創意工夫に努めるべき。

市長 制定当時と比べ認識、イメージともに薄れている。各種イベント時の活用や刊行物への掲載を行い、市民により親しまれるよう努めたい。

〈その他の一般質問〉
▽空き家政策となつている市営住宅の管理について

市 町村合併の効果を調査研究する部門を設置すべき

答 現在の所管課で情報収集を行いたい



吉田 良 議員

議員 本市を対象としたこれまでの合併議論と今後の広域連携及び合併の展望について、どう考えているのか。
市長 どの合併議論も市民の合意形成に至らなかつた。当面は独自に持続・発展し続けるまちづくりを目指したい。広域連携は今後も積極的に取り組みたい。

議員 愛知県名古屋市のベッドタウンである北名古屋市は、今の財政規模ではできない、きめ細かな支援が期待できるとして、隣接する名古屋市との合併について本格的な検討に入る考えを示した。合併特例法の目的を受け、本市も自主的な町村合併の検討に移るべき。
市長 経済社会情勢の変化への対応策として合併の検討を行う段階ではないと考える。
議員 仙台市の敬老乗車証を名取市民が利用できないなど、サービス格差の問題があることを踏まえ、今こそ合併の検討を始めるべき。
市長 大都市に隣接す

藩政時代	M22.4.1	M29.6.30	S3.4.1	S30.4.1	S33.10.1
関上村、小塚原村、牛野村、大曲村、高柳村	東多賀村		関上町	名取町	名取市
下増田村、杉ヶ袋村	下増田村				
増田村、田高村、上余田村、下余田村、手倉田村	増田村	増田町			
吉田村、熊野堂村、川上村	高館村				
塩手村、笠島村、小豆島村、北目村	愛島村				
飯野坂村、植松村、堀内村、本郷村	館腰村				

▲町村合併によって成立した名取市の歴史

るメリットを享受しながら持続可能なまちづくりを進めたい。
議員 市長が選挙公約に「地下鉄の南進」を掲げたことで、市民の間で仙台市との合併が進むという憶測が広まるのではないか。広域連携の拡大や市町村合併の効果を検査研究する部門を設け、情報を市民に提供すべき。
市長 新たな部門の設置は必要ないと捉える。現在の所管課で引き続き情報収集を行いたい。

（その他の一般質問）
▽歴史・文化的資源の保存と活用について
▽道路の安全性と利便性の向上について



▲建設の進む関上地区第1期戸建て復興公営住宅

議員 被災者に対し、内陸部に住まいを確保する理由は。
市長 津波が怖くて戻れない方のためであるが、復興をおくらせないことが大前提である。
議員 これまで東日本大震災復興調査特別委員会の請願審査の中で、内陸部に住まいを確保すれば「まちが分断される」「まちの機能が失われる」「持続可能なまちができない」との理由で否決してきた。市長もその多数の中の一人であったが、整合性がとれないのでは。
市長 持続可能なまちをつくり、なおかつ事業におくれが出ないよう

議員 被災者に対し、内陸部に住まいを確保する理由は。
市長 津波が怖くて戻れない方のためであるが、復興をおくらせないことが大前提である。
議員 これまで東日本大震災復興調査特別委員会の請願審査の中で、内陸部に住まいを確保すれば「まちが分断される」「まちの機能が失われる」「持続可能なまちができない」との理由で否決してきた。市長もその多数の中の一人であったが、整合性がとれないのでは。
市長 持続可能なまちをつくり、なおかつ事業におくれが出ないよう



荒川洋平 議員

震災復興計画を変更すればおくれはないわけがない

答 おくれのないよう検討を進めていく

大震災復興調査特別委員会の請願審査の中で、内陸部に住まいを確保すれば「まちが分断される」「まちの機能が失われる」「持続可能なまちができない」との理由で否決してきた。市長もその多数の中の一人であったが、整合性がとれないのでは。
市長 持続可能なまちをつくり、なおかつ事業におくれが出ないよう

うにしながら、関上に戻れない方の意を酌めるよう検討中である。
議員 内陸部に住まいを確保する、事業におくれも出さない、持続可能なまちもつくる。それは、今までの経過を見ればできないと結論は出ている。
それでもできると言い切れるのか。
市長 関上に戻れない方全てに應えるのは至難である。内陸部への移転については戸数を限定せざるを得ない。持続可能なまちを意識した上で検討中である。
議員 これは復興公営住宅整備事業の計画変更ではないのか。
市長 近々検討結果を説明したい。
議員 計画変更をすればおくれはないわけがない。おくれることなくできるのか。
市長 おくれのないよう検討を進めていきたい。

なぜ公設で認定こども園を整備するのか

答 国の事業を進めるきっかけづくり



小野泰弘 議員

議員 公設認定こども園を整備する理由は、**市長** なぜ民間が認定こども園移行に積極的に取り組めないのか課題を洗い出し、行政が責任を持って進める姿勢を示すためである。
議員 名取市子ども子育て支援事業計画では、2号認定に対して保育施設の供給が不足して

おり、認可保育所のない状態を確保するとして、この方針に反して公設認定こども園を整備する理由は、**市長** 将来的には、民間でできることは民間でと考えている。しかし、それが進んでおらず、何らかの手を打っていかねばならない。必ずしもずっと公設でということではなく、一つのきっかけづくりとして国の事業を推し進めていく。
議員 計画では供給過剰になるのは幼稚園である。公設認定こども園を整備すれば供給が

単位:人

	1号 3~5歳学校 教育のみ	2号 3~5歳保育の必要あり	
		学校教育の 希望が強い	左記以外
①供給量	1,579	496	
②需要量	1,462	242	559
①-②	117	△305	

▲平成28年度の教育ニーズと保育ニーズ
名取市子ども子育て支援事業計画より

さらに過剰になり、定員割れを起こすのでは。
課長 2号認定でも幼稚園に通わせたい保護者もいる。この人数を加味すると過剰にはならない見込みである。
議員 公設認定こども園整備について子ども子育て会議の同意が得られない場合は、**市長** 答申には理由が付けられてくるので、しっかりと見極めた上で判断する。
議員 公設認定こども園整備の財源は、**市長** 国の補助対象とはなっていないので一般財源となる。

関 上小・中一貫校の関上学など 特色ある教育とは

答 地域と共に歩む学校を具現化する



及川秀一 議員

議員 9年間の教育課程をどうするのか。
教育長 発達段階を考慮して4・3・2年制の3期とし、系統性を重視した上で、一部教科担任制や小中の教員が協力した授業等を計画している。

異学年との積極的な交流で思いやりや感謝の心を育て、充実した



▲起工式が行われた関上小・中一貫校

学校生活を送らせたい。
議員 ふるさと教育の充実を図るべき。
教育長 地域を大切に

する心や態度を育成し、地域の復興・発展に貢献できる人材育成にもつながる教育の一つである。各種団体との連携は有効な手段であり、今後充実を図りたい。
議員 市内関係団体と協働でキャリア教育推進に取り組むべき。
市長 子供たちには将来、社会的・職業的に自立し、自分らしい生き方を実現する力が求

められており、キャリア教育の一層の充実が大切だと認識している。発達段階に合わせたキャリア教育は重要である。各企業団体・商工会・関係当局と協働でキャリア教育について取り組めるよう教育委員会と調整していく。
教育長 学習指導要領では職業に関する知識や技能について、主体的に進路を選択する能力・態度を小学校段階から育てることが必要と示している。関上小・中学校でも地域の働く方々と触れ合い、職業について体験的に学ぶことが大切である。

キャリア教育の充実に向け研究を進めたい。

- 〈その他の一般質問〉
- ▽応急仮設住宅居住者の課題について
 - ▽名取スポーツパークの再開について
 - ▽空港民営化と観光政策について

公約実現のための道筋を示すべき

答 真摯に対応していく



丹野政喜 議員

議員 公約で掲げた地下鉄の南進と熊野堂地区のまちづくりとは。

市長 地下鉄延伸は仙台市に隣接しているメリットを効果的に生かす施策となる。熊野堂地区のまちづくりは私の夢を描いたもの。

議員 庁内でのように指示しているのか。

市長 今後、公共交通

の体系に関する組織づくりを指示していく。

議員 財源も含めた骨子案を議会に示すべき。

市長 将来を見据えた構想や夢であり、相手のある話なので、まずは情報収集や相談を行いたい。

議員 夢や思いの話では議論は進まない。公約では「地下鉄の南進とアクセス線の常磐線接続を」とあるが、その後続く言葉は何か。

市長 「目指す」とか「見据える」という言葉になると思う。

議員 「実現する」というのが公約ではないのか。公約とは市民と



▲延伸が公約に掲げられた仙台市営地下鉄

の約束である。名取市のリーダーとして、実現のための道筋を示すべきである。本市の課題は多い。現状をしっかり把握し、財政的な見通しを持った上で将来像を示し、優先順位を決める。それが公約を示すということではないのか。公約実現に向けた決意は。

市長 この4年間で具現化できる課題と、未だの本市の骨格づくりにつながる課題を整理して進めたい。聞く耳と対話により市民に寄り添うように努め、真摯に対応していく。

市長選挙公約の名取スポーツパークの活用について

答 困難な道だが市民の声と願いである



大友康信 議員

議員 名取スポーツパークをどのように活用するの。

市長 子育て・教育先進都市を目指す取り組みの一つとして公約に掲げた。各種グラウンドや施設等を有効活用したい。



▲宮城県議会文教警察委員会による閉鎖されている名取スポーツパークの視察の様子

議員 いつまでに実現させたいのか。

市長 具体的活用や運営主体について、これから関係機関とともに調査・検討して時期を示したい。

議員 施設の老朽化などから閉鎖の検討がされてきたナスバは、東日本震災により陥没や地盤沈下という大きなダメージを受けた。復旧費と維持管理費が巨額なため継続運営

のめどが立たず平成24年6月に閉鎖された。これまでも本市では関係機関と連携して再開に向けた取り組みがなされてきた。県議会ではナスバの存続に関する請願が採択されたが、県教育委員会からは応えることは困難であると既に示されている。再開の見通しはあるのか。

市長 非常に困難な道だが、市民の声と願いであると捉えている。

議員 現在使用されているスポーツ施設の改善と改修、または機能の充実を優先すべき。

市長 市内の体育施設については随時、改善と改修を行いながら維持管理に努めてきた。

教育長 機能充実を図り、市民や利用者の意見も聞き、施設使用に支障を来さないよう改善と改修を図りたい。

子育て世代、高齢者などに優しいまちづくりを

答 なとりん号の岩沼市への延伸を予定



大沼宗彦 議員

議員 市民バスなとりん号について、総合南東北病院への延伸が実現できるよう、岩沼市と協議すべき。
市長 館腰地区や堀内地区の代表から要望・陳情を受けている。現在のバス運行路線での延伸は困難だが、平成30年度からの新たなバス路線の改定に向け、



▲なとりん号

本年度から取り組んでいる。
議員 総合南東北病院と、向かいのスズキ記念病院への利用希望者が多い。近くの岩沼市民会館での発着になれば、確実に利用者がふえる。
市長 なとりん号の総合南東北病院までの延伸は、私の公約の一つでもあり、実現に向けて検討していきたい。
議員 子育て世代や高齢者、障がい者に優しい駅として、館腰駅にエレベーターを設置すべき。
市長 東日本旅客鉄道株式会社より、館腰駅がエレベーターの整備対象となり、本市に対して事業参画、協力依

頼があった。

議員 実現のためどう進めるのか。

市長 現在、12月の補助申請に向け取り組んでいる。整備方針として、東西両側にエレベーターをそれぞれ1基ずつ設置する方向で検討が進められている。平成32年度までを目標に整備する予定である。本市としても、実現に向け協力していきたい。

- ▽その他の一般質問
- ▽公営住宅の建設で活気あるまちづくりについて
- ▽公務労働者を取り巻く環境について
- ▽男女共同参画社会の実現について

選挙

答 課題について説明責任を果たすべき



大久保主計 議員

議員 選挙公約の実現に向けた今後の取り組みを明らかにし、その事業評価を行うなど、市民への説明責任を果たすべき。
市長 この4年間で具現化できる課題と、未だの名取市の骨格づくりにつながる課題に整理して進めたい。市民へは実施計画に位置付

けて示したい。

議員 選挙公約は、事後検証可能なマニフェストを意識して、財源の手当てや政策的な枠組みを考えたのか。

市長 そういうことを意識して公約は組み立ててはいない。

議員 しっかりとした政策をもとに指示するならともかく、今から課題の洗い出し、具体的な施策を考えるようでは、従来の業務への支障、職員の健康などが心配されるがどうか。
市長 丸投げではない。

ある程度の課題を指示し精査している。

議員 公約の中で具現化できるものは、財源や政策的なスキームが整った公約はあるか。

市長 繰り返しになるが、4年間で優先順位をつけ、復興の加速化子育て支援など、具現化したいということと、ある程度の道筋をつけられるか、提案された財源も含めて精査している。

議員 市長のいうビジョン、新たな政策方針を示すべきだと考えるが、いつ市民に示すのか。

市長 繰り返しになるが、実施計画の中で位置付けて示したい。



- ▽その他の一般質問
- ▽市長の政治姿勢について
- ▽子供の貧困施策について

前 市政推進側の立場であったと考えるが矛盾では

答 是々非々の立場である



小野寺美穂 議員

議員 市長選挙において公開討論会を開催し、公約や争点を明らかにすべきだったのではないかと。議員時代の可否の態度からしても、争点がない。

市長 煩雑な選挙準備作業に追われて、全く余裕がない状況であった。

議員 復興も含めて、



▲事業と施策の精査が進む市役所

前市政推進の立場であったと認識しているが、矛盾していないか。

市長 個々の施策については、是々非々の立場で意見を述べていた。復興事業においては、どうしても閑上地区に戻れない方への配慮をするという答弁があったため、賛成してきた。

議員 選挙中に配布されたチラシに「復興土地区画整理事業にこだわった」「こんなリーダーはいらない」などと書かれている。言っていることと矛盾し、一部はデマゴギーではないか。

ではないので、わからない。

議員 責任があるのではないか。

市長 作成にかかわっていないので、経緯はわからない。

議員 仙台市営地下鉄延伸の現実性、基本的な考えは。

市長 大都市仙台市に隣接するメリットを最大限に生かした施策の展開は、効果的と考える。

議員 仙台市側から見れば、非現実的と考えるが、いかがか。

市長 調査研究をしていく。

議員協議会 (8/24)

名取市サイクルスポーツセンター復旧工程(案)について

名取市サイクルスポーツセンターは、東日本大震災による大津波のため平成23年に解体されました。

名取市震災復興計画に基づき策定された沿岸地域活性化振興ビジョンにより、復旧を目指すべき施設と位置づけられ新たに整備を検討している温泉施設を含めた復旧工程案について説明がありました。

議員からは、パブリックコメントの実施の有無、広浦橋工事への影響、温泉掘削工事の財源と工程などについて多くの発言があり、活発な議論が展開されました。

そのほか、使用料及び手数料の改定等、水道料金の改定について説明がありました。

第4回臨時会

その他

8月9日に臨時会が開催され、市長提出議案2カ件について、原案のとおり可決しました。

入札価格について

議員 予定価格と入札価格の差をどう捉えているのか。

課長 予定価格と調査基準価格の範囲内であれば適正な見積もりと判断している。

議員 震災以降の各経費高騰への対応は。

課長 実態に合わせて県が設定する単価により積算している。

工事請負契約の締結

〔閑上小塚原線(仮称)中貞山運河橋下部・上部工事〕

概要

閑上小塚原線(仮称)中貞山運河橋の下部工及び上部工について、それぞれ制限付き一般競争入札において落札した事業者と契約を締結するものです。

条例・補正予算等審議

今期定例会では、平成27年度決算関連議案3カ件のほか、条例6カ件、補正予算9カ件、その他の議案12カ件など、計42カ件の議案について審議を行いました。

主な質疑の内容について掲載しております。なお、全ての議案の審議結果については、15ページの議案審議結果をごらんください。

条例

使用料及び手数料の改定等に関する条例の一部改正

概要 平成27年10月に策定した使用料・手数料の見直し指針に基づき、受益者負担の原則から各施設の使用料及び手数料を算定し、平成29年4月1日から適用するため、必要な改正を行うものです。

対象施設
市民球場、市民陸上競技場、市民庭球場、各公民館（増田・閉上・愛島を除く）、農村婦人の家、館腰駅東口・西口駐輪場、名取駅西口駐輪場、文化会館、名取駅コミユニティプラザ、市民体育館

※新愛島公民館は、別途改定されました。

本会議審議

改定の影響について

議員 影響額は。

課長 使用料で1130万円、手数料で1189万円の増であり、合計2319万円の増である。

議員 使用料の増額による利用者数減の見込みは。

課長 利用者数の推計は行っていない。実績に基づき

増額分を算出した。

水道給水条例の一部改正

概要 今後心配される水道使用量の減少や大口利用者離れによる料金収入への影響を受けにくい安定した経営体系を目指し、利用者の適正な負担と独立採算の維持を図るため、必要な改正を行うものです。

委員会審査

従量料金引き上げによる影響について

委員 事業所等の大口利用者には大きな影響があると思うが、料金の違いは。

所長 改定前より月額60万円から70万円程度の減額になる。シティーセールスの側面から、水を大量に必要とする県内の事業所等と呼ばび込む要素ともなり得る。

補正予算

本会議審議

震災復興支援バス運行委託料について

議員 内容は。

その他

工事請負契約の締結について 〔増田中学校校舎増築（建築工事）〕

概要 増田中学校の生徒数の増加に伴い、教室等の増築を行うため、工事請負契約を締結するものです。

本会議審議

授業への影響について

議員 完成時期は。

課長 工期は13カ月、完成時期は平成29年10月末を予定している。

定している。
議員 現在、多目的室を使用して授業を行っているが、その部分は解消するのか。
課長 完成後には、多目的室に戻す。



▲増田中学校校舎増築予定箇所

土地の取得について

概要 第二次防衛ライン西側（小塚原地内）に被災者等市民墓地公園を整備するため、用地の取得を行うものです。

本会議審議

進捗状況について

議員 進捗状況は。

課長 取得対象は今回事案している土地を含め、65筆、面積7万6794・57平方メートルである。平成28年度末までに全てを買い取りできる予定である。

平成 27 年度 歳入歳出決算審査

委員会審査 (全体会)

一般会計歳入

市税の未納について

委員 平成27年度に、滞納整理機構に移管した件数と金額は、納税されないケースもあったのか。

課長 移管は最大60件までとなっており、未納額6370万円のうち2826万円を徴収。引き続き納税交渉を行うが、執行停止や不納欠損になるケースもある。

自動車取得税交付金について

委員 増額の主な要因は。
課長 軽自動車の登録車数は前年度同様で、取得税の原資にはエコカー減税の適用がある。適用の燃費基準が平成32年度基準に変わり、厳しくなっている。減税の対象台数が減ったことにより、交付税額が増額になった。

学校給食費実費徴収金の未済額について

委員 収入未済件数と滞納縮減の努力は。
課長 収入未済は731件

であり、内訳は小学校37件、中学校36件、滞納繰越は658件である。

徴収に向け、督促状の送付や戸別訪問を行っており、生活困窮世帯には、就学援助申請を勧めている。

ふるさと寄附金について

委員 使用指定の傾向は。

課長 6つのカテゴリーに分け寄附者から使途を伺っている。3億3000万円の内訳は、地域福祉の充実に6890万円、地域文化づくりに2156万円、生活環境づくりに3610万円、都市環境づくりに1667万円、産業の振興に4420万円、元気な都市づくりに1億4300万円であった。

一般会計歳出

分科会審査

第1分科会

交通指導隊員の活動状況について

委員 活動回数がふえた要因は。

課長 春の交通安全運動がひと月おくれたことにより、出勤回数が春休み明けと春の交通安全運動の2回となったためである。

委員 最も多い隊員の出勤回数は。
課長 228回である。

婦人防火クラブについて

委員 クラブ員減少の要因は。

課長 活動休止状態の閉上と増田のクラブ員の数を除いたためである。

委員 団地での発足に向けた取り組みは。
課長 高館3団地については、発足に向けた指導は行っていない。



▲婦人防火クラブ活動の様子

なとりん号の利用状況について

委員 乗車人数が減った路線はあったのか。

課長 まちなか循環線・県立がんセンター線・高館線・閉上線の4路線で減となった。

委員 市民から増便等の要望はあったのか。

課長 路線数をふやしてほしい、早朝や夜遅い便も考えてほしいという要望があった。

防災ラジオ導入事業について

委員 評価は。

課長 防災ラジオにより、有事の際の市民へのチャンネルが一つふえたという一定の成果があったと考えている。

委員 実績は。

課長 5000台中、3632台の販売実績である。

第2分科会

町内会等管理街路灯電気料補助事業について

委員 前年度より増額され

平成27年度歳入歳出決算に対する総括質疑

沿岸部での道路等整備の進捗状況は

名取グローバルネット 及川秀一 議員

議員 震災復興計画で安全・安心のまちづくりのため道路等整備が計画されたが、進捗率と取り組みの成果は。

市長 施設整備で第二次防壁ラインと避難路及び防災公園の整備を位置づけた。

進捗率は第二次防壁ラインが13・5割、避難路で閑上小塚原線8・8割、閑上四郎丸線23・6割であり、

防災公園は10割である。

取り組みと成果は、関係地権者との合意形成と道路法線の確定に伴う関係機関との協議を行った。公安委員会、仙台空港事務所、仙台空港鉄道、県仙台地方振興事務所など調整機関が多く協議に時間を要した。関係地権者説明会を行い、一部用地の取得を行った。

市長交代で変えるべき施策・事業は何か

日本共産党 小野寺美穂 議員

議員 前市政における施策・事業について、全て賛成した立場であったが、それを批判して交代した。決算審査に当たり、変えるべきと考える施策・事業は何か。

市長 名取市第五次長期総合計画とそれに付随する実施計画や震災復興計画、新たに策定した地方創生総合戦略に基づき、その達成に向けて取り組んでいる。

変えるべきと考える施策や事業について、精査まで行っていないのが現状である。事務事業全般について、より効率的・効果的に事業が実施できるよう見直しを行いながら、各種計画の具現化に取り組んできたところである。

母子保健事業支援体制の取り組みは

公明名取 菅原和子 議員

議員 国においては妊娠前から子育て期にわたるまでのさまざまなニーズに対して総合的相談・支援を提供するワンストップ拠点を全国に整備するとしている。

一般質問では、コーディネーターの配置や支援プランの作成といった新機能について、今後研究しながら実際に即した形で盛り込んでいきたいとのことであった。

だが、どのように取り組んだのか伺う。

市長 子ども子育て支援法による利用者支援事業の母子保健型については、平成27年12月から事業を開始している。保育と母子保健のコーディネーターを中心に関係機関を交え、話し合いを重ねてきた。

新図書館の施設整備、運営について

青雲倶楽部 山田龍太郎 議員

議員 新図書館の施設整備、運営に当たり市民の声を聞き、また視察等を行って検討を重ねてきたことが計画にどう生かされたのか伺う。

市長 これまで市内18カ所で開催したライブラリーミーティングを行い、市民や利用者の声を大切に聞いた。また図書館協議会や新図書館施設整備検討委員会を

開催し、その提案や意見をもとに、カウンターや階段の位置、家具の配置や座席、おはなしの部屋の設置など、建設アドバイザーから利用者のことを考えた内装設計指導も受けた。

閉架書庫や学習室、ヤングアダルトコーナーは視察等による先進図書館の事例を参考にし、取り入れた。

ている内容は。
係長 前年度実績により算出している。平成27年度は平成26年度の電気料がふえたためである。

犬のふんの後始末の徹底について

委員 気持ちよく歩ける町の形成にどう取り組んだのか。

係長 町内会の要望に対して立て看板の配付、犬の飼い方教室等でアドバイスをを行った。

持ち込み食品の放射能測定について

委員 件数と結果は。

係長 27件の持ち込みで、全て基準（1割中1000μBq）以内であった。

最終処分場調査委託について

委員 内容と結果は。

係長 最終処分場からしみ出す水と、閉鎖された名取クリーンセンター周辺のダイオキシンの調査である。全て基準値内であった。



第3分科会

身体・知的障がい者
支援について

委員 施設入所支援事業における計画相談の状況とその後モニタリングは。

係長 18歳以上の対象者に対しては十分な対応を行っている。入所者へは年1回のモニタリングを行い、必要に応じ、適宜対応している。

避難行動要支援者
避難支援計画の策定
について

委員 計画の啓蒙活動は。

係長 公民館単位での説明会を行っている。要望があれば町内会単位でも行う。

委員 支援を必要とする人は把握しているのか。

課長 調査し名簿を作成中である。公民館や民生委員、町内会と情報を共有し連携を取りたい。

学校等の修繕や改修
工事について

委員 各学校からの申し出によるものなのか。

課長 毎年10月に全小中学校及び幼稚園に聞き取りを

行い要望箇所を把握し、優先順位をつけ、予算要求に反映させている。急を要する事態には、学校生活に支障がないよう対応している。

公民館職員の体制について

委員 労務技師引き上げと支援員増員の効果は。

課長 一定の効果はあった。毎日の清掃は業務委託、増員した支援員が窓口業務を担当。講座計画もふえた。
委員 地域の声は反映しているのか。

課長 関係職員で構成する「公民館のあり方検討会」を実施。地域の声は公民館からの意見とし、十分に捉えている。

決算審査について

決算審査は、財務常任委員会において3つの分科会を設置し、一般会計歳入を全体会で、一般会計歳出・特別会計・企業会計を3つの分科会で分担し、それぞれ審査を行いました。

平成27年度歳入歳出決算 討論

賛成
前市政をどう
捉えて認定に
臨んだのか

日本共産党

小野寺 美穂 議員

前市政を批判し市長交代したが、前市政時代の決算審査を市当局自身がどう考えているのか、総括質疑でただしたが、納得のいく答弁は得られなかった。

歳入は、課税客体的な確かな把握をし、担税能力の有無の判断等を行い、徴税に努められた成果と判断する。放課後児童クラブ利用料については、有料化による利用形態への影響が少なからず見受けられる。予算編成に向けて再考を求めたい。
歳出では、不用額の解消についてさらに努められたい。超過勤務については過重・偏重にならないようにすべき。教育費は、いじめ問題について時代の変化に応じた対応を求める。

賛成
ふるさと寄附金
特産品取扱の
実績を評価

公明名取

菅原 和子 議員

平成27年度は「新たな未来へ」を具現化し、子育て環境の充実と都市基盤整備の関連施策に取り組んだ年度であった。

歳入では、市民税個人分で1億5千万円増加したものの法人分は2億3千万円減少した。収納率が96・19割と上昇したことは評価するが、適切な実態把握に努められることを望む。
歳出では、窓口混雑時に必要な案内をする案内係を配置したことは市民サービスの向上につながる取り組みとして評価する。
ふるさと寄附金特産品取扱事業で大きな実績を上げたことは、議会で求めているものであり評価する。今後も魅力ある特産品の開発に期待する。

人事案件に同意

今定期例会には、3件の人事案件が提案されました。

◎教育委員会教育長

(9月6日上程)

同日原案可決
瀧澤 信雄氏(岩沼市)

◎教育委員会委員

(9月6日上程)

同日原案可決
浅野かおる氏(相互台)

◎固定資産評価

審査委員会委員

(9月21日上程)

同日原案可決
本郷秀隆氏(愛島北目)

陳情

◇農道愛島53号線の拡幅改良整備に関する陳情
(小豆島町内会)
会長 針生 義二氏

◇名取市議会議場への日本国旗並びに市旗の掲揚を求める陳情
(名取市を刷新する会)

代表 今野 栄希氏
(外1人)

◎賛成と反対に分かれたもの

※ ○は賛成、×は反対

会議名	提出者	議案番号	件名	審議結果	議員名(議席番号順)																	
					大泉 徳子	大久保主計	齋 浩美	菅原 和子	吉田 良	荒川 洋平	大友 康信	小野 泰弘	佐々木哲男	村上 久仁	及川 秀一	大沼 宗彦	佐藤 正博	長南 良彦	相澤 祐司	小野寺美穂	丹野 政喜	山口 實
第5回定例会	市長	議案第83号	名取市使用料及び手数料の改定等に関する条例	可決	×	○	×	○	×	×	○	○	○	○	×	○	○	○	×	○	○	○
		議案第86号	名取市市民公益活動拠点施設条例の一部を改正する条例	可決	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	×	○	○	○
	議員	議案第7号	返済不要の給付型奨学金の創設及び無利子奨学金の拡充を求める意見書	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○
		議案第8号	後期高齢者の保険料軽減特例措置に関する意見書	可決	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	×

※地方自治法第116条の規定により、議長は表決に加わっておりません。

◎全員が賛成したもの

会議名	提出者	議案番号	件名	会議名	提出者	議案番号	件名
臨時4回	市長	議案第78号	工事請負契約の締結について(閑上小塚原線(仮称)中貞山運河橋下部工工事)	第5回定例会	市長	議案第99号	平成28年度名取市下水道事業等会計補正予算(第1号)
	議員	議案第79号	工事請負契約の締結について(閑上小塚原線(仮称)中貞山運河橋上部工工事)		議員	議案第100号	名取市教育委員会教育長の任命について
	市長	議案第80号	平成27年度名取市歳入歳出決算の認定について		議案第101号	名取市教育委員会委員の任命について	
		議案第81号	平成27年度名取市水道事業会計利益の処分及び決算の認定について		議案第102号	仙台都市圏広域行政推進協議会規約の変更について	
議案第82号		平成27年度名取市下水道事業等会計決算の認定について	議案第103号		宮城県市町村等非常勤職員公務災害補償等認定委員会共同設置規約の変更について		
議案第84号		名取市議会政務活動費の交付に関する条例の一部を改正する条例	議案第104号		宮城県市町村等非常勤職員公務災害補償等審査会共同設置規約の変更について		
議案第85号		名取市公民館条例の一部を改正する条例	議案第105号		宮城県市町村職員退職手当組合規約の変更について		
議案第87号		名取市営住宅設置条例の一部を改正する条例	議案第106号		宮城県市町村非常勤消防団員補償報償組合規約の変更について		
議案第88号		名取市水道給水条例の一部を改正する条例	議案第107号		宮城県市町村自治振興センター規約の変更について		
議案第89号		工事請負契約の締結について(名取市立増田中学校校舎増築(建築)工事)	議案第108号		工事請負契約の締結について(閑上小塚原線道路改良工事その1)		
議案第90号		土地の取得について	議案第109号		財産の取得について		
議案第91号		土地の取得について	議案第110号		財産の取得の変更について		
議案第92号		平成28年度名取市一般会計補正予算(第4号)	議案第111号		名取市固定資産評価審査委員会委員の選任について		
議案第93号		平成28年度名取市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	議案第112号		平成28年度名取市一般会計補正予算(第5号)		
議案第94号		平成28年度名取市土地取得特別会計補正予算(第1号)	議会案第5号		名取市議会傍聴規則の一部を改正する規則		
議案第95号		平成28年度名取市休日夜間急患センター特別会計補正予算(第1号)	議会案第6号		次期介護保険制度改正における軽度者への日常生活支援及び福祉用具貸与・住宅改修に係る給付を継続する旨の意見書		
議案第96号		平成28年度名取市介護保険特別会計補正予算(第2号)	議会案第9号		東日本大震災被災者に対する医療費の一部負担金免除に関する意見書		
議案第97号		平成28年度名取市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	議会案第10号		宮城県乳幼児医療費助成制度の拡充を求める意見書		
議案第98号	平成28年度名取市被災市街地復興土地地区画整理事業特別会計補正予算(第3号)						

平成28年
12月定例会は
12月6日(火)
開会予定です。

- ◇道路の水路整備に伴う道路整備に関する陳情
(上余田南区) 区長 大友 茂氏 外5人
- ◇市道耕谷1号線歩道整備についての陳情
(耕谷町内会) 会長 大友 清康氏 外2人
- ◇市道本村耕谷線の舗装についての陳情
(耕谷町内会) 会長 大友 清康氏 外2人
- ◇3・11東日本大震災第三者検証委員会報告書の再確認と市が契約した減災・復興支援機構が後世に残すべき報告書の元資料を廃棄した件に関する検証と対応措置についての陳情
(杉本 正勝氏 外2人)

議会懇談会

あなたの声をお聞かせください!
開催のお知らせ

議会懇談会は、市議会の活動状況を地域に出向いて市民の皆様へ直接報告・説明し、議会に対する意見や市政に対する提言などをお聞きすることにより、市議会の一層の充実を図るとともに、市民の皆様との意見交換を積極的に進めることを目的としています。

議員21人が7人ずつ3班に分かれて市内各地区会場を回ります。

皆様のご来場をお待ちしております。



スケジュール

日	時	場 所 ※丸数字は担当班
11/8 (火)	午後2時	相互台公民館① 那智が丘公民館②
	午後7時	下増田公民館③ 旧視聴覚センター①
11/9 (水)	午後2時	愛島公民館② 高館公民館③
	午後7時	ゆりが丘公民館① 愛島東部仮設住宅集会所②
11/10 (木)	午後2時	閑上公民館③ 堀内集会所①
	午後7時	増田西公民館② 大曲集会所③
11/11 (金)	午後2時	館腰公民館① 箱塚桜仮設住宅集会所②
	午後7時	名取が丘公民館③ 植松入生仮設住宅集会所①

テーマ

1 平成28年第5回名取市議会定例会(9月)について

- ・平成27年度決算内容
- ・名取市使用料及び手数料の改定等に関する条例
- ・名取市水道給水条例の一部改正

2 復興事業の進捗状況について

- ・被災市街地復興土地区画整理事業
- ・災害公営住宅整備事業
- ・名取駅前再開発・複合施設整備事業

3 地域の課題について(意見交換)

班編成

- 1班: 大泉徳子、大友康信、及川秀一、大沼宗彦、佐藤正博、山口 實、山田龍太郎
- 2班: 大久保主計、吉田 良、荒川洋平、小野泰弘、長南良彦、丹野政喜、菊地 忍
- 3班: 齋 浩美、菅原和子、佐々木哲男、村上久仁、相澤祐司、小野寺美穂、郷内良治

平成二十八年十一月一日(年四回発行)

名取市議会だより 第一五六号

編集後記

新しい市長を迎えての初めての議会となり、多くの市民の方に議会の傍聴に来ていただきました。一般質問では、市長の掲げた選挙公約について、多くの議員が質問をされました。新市長のこれからの市政運営、その手腕が問われます。

また、今回は昨年度事業の振り返りと、予算の使い方について、しっかりと検証を行いました。私たちの税金が効率よく効果的に使われるようチェックすることは、議会の最も大きな役割です。その結果をさまざまに機会を設けてお知らせしてまいります。

委員長 荒川 洋平
副委員長 大久保主計
委員 齋 浩美
菅原和子
吉田 良
大友康信
村上久仁

